



医療法人徳洲会

# 館山病院

## 館山病院の理念

「生命だけは平等だ、を基本理念とし、  
「生命を安心して預けられる病院」  
「健康と生活を守る病院」を目指します

Vol.11 2022年 1月15日

館山病院広報誌  
発行：館山病院  
〒294-0037 千葉県館山市長須賀 196  
TEL.0470-22-1122 (代)  
制作：館山病院 広報委員会  
タテマガ編集室 (内線 725)

## Tateyama Hospital Magazine

Contents Cover 新年のごあいさつ 館山病院 院長 ②新年のごあいさつ



旧年中はお世話になりました  
本年もよろしくお願い申し上げます

新年の  
ご挨拶



館山病院 院長  
竹内 信一

新年にあたって

皆さん、新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナに始まり、コロナに明け暮れた一年で、日本人の誠実さ・真面目さ、はたまたワクチン接種の影響か終息とはいかないまでも年末には安寧な日々を迎えるはずでしたが、オミクロン変異株で第6波の到来を予兆させる年の瀬となってしまいました。今後、益々基本的な感染対策の徹底が重要となりますのでよろしくお願いいたします。一方、病院はというと新病院の建設は着々と進み、今年6月1日には開院の運びとなります。新病院開院にあたっては、5つのコンセプト—  
1.「中規模」「地域密着型」「ケアミックス」病院として機動力を発揮できる病院を目指す。  
2.リハビリテーションを核として「急性期・回復期・慢性期医療」の診療体制を整え、二次救急医療の信頼を構築する。  
3.災害時に対応できる病院を目指す。  
4.病院と在宅医療、介護との関係強化を推進する。  
5.優秀な人材の採用と地域の人材育成に貢献できる病院を目指す。—をもう一度職員一同見つめ直して、地域住民の期待に応えるべく中核病院の一つとしてワンチームで邁進して行こうではありませんか。

今年 は寅年、虎は千里往って千里還るの例えの如く活力に満ちた行動力のある年となる事を期待して年頭の挨拶といたします。



**ご不便をおかけいたしますが、引き続き当院の感染予防対策にご協力を  
よろしくお願いいたします。ご来院やご連絡の際にホームページ等をご確認ください。**

公式ホームページ





館山病院 副院長  
佐藤 猛

新年明けましておめでとうございます。  
 今年は寅年です。さて寅年を調べてみると、自然や環境を見直す年になるかもしれないのことでした。昨年はコロナ感染症が爆発的な感染拡大となり、賛否両論あるなかで東京オリンピック、パラオリンピックが開催され何とか無事に終了しました。安房地域ではクラスターと思われる集団感染があり、当院の対応といえば、発熱外来の設置、コロナワクチンの集団・個別の予防接種そしてコロナ陽性患者の受け入れ入院など予想していない状況に直面しました。しかし、職員の皆さんには突然の申し入れにもかかわらず、疲労困憊のなかで対応いただき心から感謝しています。本当にありがとうございました。館山病院はというと明治24年10月に創立され、昨年令和3年10月に法人の合併により医療法人徳洲会館山病院となりました。明治時代から130年間、地域の皆さまと一緒に育てていただいた歴史ある病院ではありますが、建物の老朽化についてはこれまでも様々な問題が沸き上がりました。今年の6月には念願であった新病院が開院することになり大変うれしく思っています。きれいに生まれ変わった病院に対する地域住民の皆さまの期待は益々大きく、また全職員の皆さんも責任から大変なプレッシャーを感じていると思います。しかし、我々職員一同は「中規模」「地域に密着型」「ケアミックス」という病院を目指し機動力を発揮できるよう頑張っておりました。今後もこの信念を忘れずに職務に従事する所存です。本年もよろしくお願いたします。



館山病院 看護部長  
辰澤 智恵

新年明けましておめでとうございます。  
 皆さまには、良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。  
 昨年も、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。  
 当院でも、新型コロナウイルス感染症の対応として、発熱外来用のプレハブ設置や新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備、陽性者の入院受け入れ体制の整備等を行い、状況にあわせて判断し、実行する1年でした。  
 職員の協力もあり、職員からの陽性者やクラスター発生がおこらなかったことは、医療従事者としての自覚をもち行動した結果だと思って感謝しています。  
 新年もまだまだ新型コロナウイルス感染症への対応が求められます。当院でできることは何かを考え、地域に貢献できるように取り組んでまいりたいと思います。  
 今年は、いよいよ新病院への移転があります。  
 6月1日の新病院オープンに向け、職員一丸となり準備を進めています。  
 建物だけ新しくなるのではなく、看護の質も向上できるように職員の教育にも力を入れ頑張っていきたいと思っております。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



館山病院 事務長  
田村 秀禎

日本の高齢化社会2025年問題、いわゆる後期高齢者と呼ばれる人口がピークを迎え、生産年齢人口が減少し社会構造や体制が大きな分岐点を迎え、雇用、医療、福祉など、さまざまな分野に影響が出ると言われておりますが、すでに安房地域においてこの問題は現実味を帯びてきています。このような中、当該医療圏にて館山病院の医療介護サービス提供がどうあるべきかを考慮して5つのコンセプトを設定して新病院建築を進めてまいりましたが、いよいよ今年の6月1日に新病院がオープンいたします。これまでの旧病院では建物が別棟で分断されていて、患者さんの導線距離も長く、部署も各棟に散らばり職員間のコミュニケーションも取りづらかった環境も新病院では解消されます。また、震災などの災害に強い構造や感染症に対する設備、充実したリハビリ環境設備も整えております。さらに、業務の効率化を目的としたDX化や保安強化のセキュリティシステム導入などハードソフト両面で刷新を行いました。今、職員はこの新しい機能を持った病院でより良い医療介護サービスの提供ができるよう皆で協力して日々準備を進めております。歴史ある館山病院の新たなスタートの年として職員一同努力してまいります。  
 本年もどうぞ宜しくお願いいたします。